

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども教室 ステップ		公表日		
				令和 7年 3月 18日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		活動内容に合わせて部屋を分けています。	家具や遊具など、配置を工夫し適切なスペースを確保している。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7		法令を遵守しています。	規定配置は適正です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5	段差の解消。 手摺の設置。	教室が2階にある為、どうしても階段を上がる必要があるが、手すりや段差スロープを付けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日の清掃と除菌を行っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		個別で落ち着ける部屋の確保をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	1	始業・終業時のミーティングにて毎日話し合っています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		保護者様のご意見・ご要望をもとに改善できることは業務改善に努めています。	御意見・ご要望を元に改善出来る事は改善に努めている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ミーティングで意見の出し合いをしている。	意見・要望を元により良い支援に繋がるようにしていきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7		今後活用できたら繋げていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	社内研修・外部研修（オンライン含む）への参加。	オンライン研修は利用していますが、今後もある研修には率先して参加していきます。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		HPに公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		保護者を含め学校や他 サービスからの情報を もとに分析・計画を行っています。	バラつきが出ないように統一した書式を元に行っている。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		児童一人一人にあった計画を、職員で意見を出し合い作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		全員に周知しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	2	アセスに関しては特定の書類を使用し、支援記録を用いて日々の状況を記録・確認しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3	児童の事だけでなく、ご家族や、進学・就職を控える際の不安等、意見をお聞きしながら作成するように心がけている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	全職員間で様々な提案をし、チーム全体で活動内容を立案している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		季節や月の行事を取り入れ、その日のご利用児童に合わせた活動を行っています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		各児童の状況に応じて個別活動・集団活動ともに計画を立てている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		子どもの来所前に必ずミーティングを行い、一日の業務の内容・役割の確認をしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		終業時のミーティングでその日の子どもの様子や保護者様から得た情報等を職員間で共有している 休みだった職員には翌出社日に情報共有しています	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		支援記録に計画内容を記載し記録を的確に行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		半年に1度のモニタリングですが、必要に応じて適宜見直しています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	5	2	学年や特性に応じて就労までを見据えて支援を行っています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1		
関係機関や保護者との連携	26	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児発管はもちろんのこと指導員が担当者会議やモニタリングに参加しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		送迎時に先生や学校での様子や下校時間の確認を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	3	担当者会議で保護者や関係各所と共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2	今のところ障害福祉事業所へ移行した該当者なし。ただし進路について悩む児童への助言は行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	6	常には無いですが、必要に応じて研修や連携をさせていただきます。	専門機関との接点無し。機会を伺い積極的に参加していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7		地域にどのようなクラブ等があるか調べたり視察したりしていきます。地域の公園や公共機関等の同じ空間で過ごす機会はある。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		現在は参加していません。機会があれば意欲的に参加したいと思います。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎の際に日ごろの情報共有を行っています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5		保護者様からご相談、ご要望があった際には職員間で共有・対処法を考えていきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時の説明に加え負担額については活動内容に応じてお知らせをしています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	1		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	1	送迎時以外でも電話等で相談・面談を行っています。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		7		参加が難しい保護者様や、必要としていない保護者様が多い為、違う手段を考えていきます。保護者様のニーズに合わせて企画を行っていく。保護者会はないが様子等、自由参加で見れるようにしている。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			「行きたくない」や「したくない」に関しても向き合い、対策を講じています。苦情の体制については整備し契約時に案内をし、実際に迅速に対応している。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			Instagramにて活動内容等を載せ周知を図っています。また、不定期ですが、おたよりを発行し日々の様子をお伝えしています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			掲示物やInstagram等の個人情報に十分に配慮し公開している
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			口頭や可視化等、特性に応じて行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6		地域の方の理解を得られる取り組み（チラシ等）から始めていく。地域との適度な連携を図るように努めていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			マニュアルを作成し、必要に応じて閲覧しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			マニュアルを作成し、必要に応じて閲覧しています。BCPも作成済み。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	5		利用に際し、保護者からの情報をもとに対応しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			ミーティング時に事例検討を行っています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			委員会の設置、定期的な研修の実施。虐待防止委員会にも参加をし、職員へフィードバックしている
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			委員会の設置、定期的な研修の実施。職員へフィードバックしている